

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和5年3月15日（水）午前9時30分から

会 場：アオーレ長岡 東棟4階 大会議室

【会見項目：令和5年4月1日付け人事異動について】

（市長）

令和5年4月1日付け人事異動についてご説明します。行政を取り巻く社会経済情勢は厳しいものがありますが、今が長岡の新しい未来を作り、選ばれるまち長岡を作る正念場だと思っています。

そのような中、適材適所の人事異動を行い、総力を挙げて市政を前に進めたいと考えております。長期で在課している職員の配置換えや、若手職員の育成のための人事ローテーションを積極的に行い、組織改編に伴う配置を含め、異動の規模は前年比28人増の745人になりました。

概要についてご説明いたします。まず項番1ですが、長岡版イノベーションやDXの取り組みをさらにスピードアップし事務事業の改革を行うほか、市民生活や産業界においては新しいシーズを見つけて発展につなげ、今まで取り組んできた地域経済の活性化を促進させることを狙いとして産業政策監を置きます。部局を問わずあらゆる事務事業の見直しには、地域産業やデジタル化を得意とする民間事業者などの力が必要となります。これらをできるだけオープンイノベーションでやりながら、産業の活性化を一步でも前に進めたいということで、全庁的に横串を刺して、産業政策を進めるものです。長岡全体の今後の発展を考える上で、あらゆる部署で産業振興やイノベーションという視点を貫徹させていきたいと思っております。そういう意味で、経験豊かで商工行政、イノベーション行政に携わってきた現商工部長を産業政策監にし、理事として全庁的な産業政策と事務事業見直しの方針決定の役割を担うものであります。

項番2については、組織内でDXを徹底的に進める観点から内部事務を整理して、本来行うべき企画的な業務や市民に直接接する仕事に力を向けられるよう、現行政DX推進担当部長をDX推進部長に、現行政DX推進担当課長を行政DX推進課長とし、今までの総務部から組織として独立させるものです。

項番3についてですが、子ども未来部長に現秘書課長を登用いたします。それとともに現在の子ども未来部長を福祉保健部長とします。長岡市は子どもに関する部門を教育委員会に置いている中で、福祉保健部との連携が欠かせないことから、今後さらに連携を密にすることで、長岡の子ども・子育て支援策を深め発展させていきたいと考えております。

項番4は支所地域の関連で、北部地域事務所を6月1日に開設しますので、地域の事情を把握している職員を起用します。

項番5は、実務に精通した支所長等を配置するものです。比較的年齢の若い、経験のある職員を充てながら、現場を体験し、その政策を進めてもらいたいということで、本庁と支所の人事交流をさらに進めていきたいという狙いがあります。

なお、課長補佐級以上の人事異動の詳細は別冊のとおりです。令和5年度はこのような体制で、市政の課題に対しスピーディーかつ的確に対応していきたいと考えているところです。

（記者）

産業政策監を配置するに当たって、長岡市の現状と、配置への期待をお伺いします。

(市長)

長岡版イノベーションや様々な産業政策の中で、新しい動きがたくさん出てきています。例えば、農林水産部にも中心的な産業である農業関連や水産業も含めて、様々な動きもあります。そういったものともものづくりの現場とを結びつけるには、部局間で十分に連携取れているかをしっかりと見る目や、指示をする役割が必要です。今までは副市長や市長がこれを行ってきましたが、それを中心的に担う職として産業政策監を置きます。事業の中では部局横断的に様々な要素が関わってきますので、そういった調整や人脈を作っていく意味でも、産業政策監が機能し長岡の産業政策をさらに進めることができればと思っています。

(記者)

現商工部長を充てるのは、これまでの民間との繋がりがあるからということでしょうか。

(市長)

市役所の中ではそういった人脈と経験が最も豊富なので登用したものです。

(記者)

女性管理職の比率はどのくらいになったのでしょうか。また、支所長については、今までよりも若返りを図るといえるのでしょうか。

(市長)

係長級以上の女性登用率は22.8%となります。令和4年度は21.9%でした。支所長についてはそのとおりです。

【その他の質問】

(記者)

8月の長岡花火ですが、マスク着用の取扱いが緩和された中で、昨年と違って今年はこのようにしていきたいということはあるですか。

(市長)

やはり感染防止という視点は欠かせないと思います。その意味で、完全に前に戻るのではなく、ポストコロナの感染防止をやりながら、どのようにやるかということになると思います。

(長岡花火財団 高見理事長)

基本的なマナーを守っていただくということで、不用に大声を出したり、不用に密になったりすることがないように、良識ある観覧をお願いしたいというのが現時点の考えです。具体的に何かを規制するという考えはありませんが、昨年無料席を設けなかったという対応については、今年も同様に会場内は有料席のみで実施したいという方向で準備しております。

(記者)

今の段階で、マスクに関する呼びかけについては決まっていますか。

(長岡花火財団 高見理事長)

マスクの着用は、政府方針に従って自己判断というのが今の方針です。

(記者)

長岡花火におけるお酒の販売についてはどのように考えていますか。

(長岡花火財団 高見理事長)

昨年は会場内での販売はしませんでした。今年は販売する方向で考えております。